

十萬突破運動等あり勞々相俟つて組合員數の回復必らずしも不可能ならざるべし。

而して本縣勞働組合の大勢は既述の如く社會民主々義を奉ずる舊社民黨系勞働組合を以つて主流となし其の全盛時代であつて、之れに次いで其の組合員數の上よりして日本主義勞働組合（協進勞働）を擧げざるを得ない。

尙國社黨系に三團體あるも本年八月日本勞働同盟の分裂以來今村氏一派と行動を共にして日本産業軍縮地方準備會を設置し縣支部結成に奔走中であつて未だ活動の見るべきものはない。而して中間團體として舊大衆黨系組合の主なるものとしては、九州合同勞働組合と西部嶺山勞働組合とあるが、何れも極左分子の策動あり本年二月檢舉の影響を受けて、遂に前者は年末解散して其の陣容を立直さんとし、

後者亦之に策應して勢力の挽回に努めつゝあるの狀態である。

更に左翼の組合としては、全九州出版勞働組合、八幡失業者同盟、職夫闘争同盟、坑夫組合九州聯合會等あるも振はず八幡失業者同盟を除くの外殆んど有名無實と謂ふべきである。亦極左全協に至りては工場に嶺山に街頭に巧妙なる潛行運動をなして數次の檢舉に潰滅と再建を繰り返してゐる。

かくて本年も舊社民系組合をして其の全盛を專にせしめたのであるが、之に對し未だ微力ながら日本主義勞働組合が將來幾許の發展を見るかがせめてもの問題であらう。

b、組合の産業別並に地域別情勢

前項に述べた如く組合戦線の整理統一には漸次産業別に或